



【令和4年度要求額 150百万円（60百万円）】

世界自然遺産の価値を支える離島固有の希少種の絶滅を回避するため、横断的な希少種保全対策を強化します。

1. 事業目的

外来種への対策等の横断的な保全対策を抜本的かつ緊急的に強化し、外来種などの脅威に対して脆弱であり、世界自然遺産の核心的な価値である離島に生息する希少種の絶滅を回避する。また、世界自然遺産の管理水準の向上を図るとともに、地域資源としての保全と活用の好循環を図る。

2. 事業内容

世界自然遺産の核心的な価値とされる離島固有の脆弱な希少種を保全するために、外来種による脅威にさらされており、特に緊急的な対策が必要な小笠原諸島、奄美大島等を中心として、各種外来種対策をはじめとする横断的な希少種保全対策を抜本的に強化する。

1. 離島希少種保全のための横断的外来種対策

- ①ノネコ対策：奄美群島固有の生態系の保全
- ②外来ネズミ類等対策：小笠原諸島固有の生態系の保全

2. 離島希少種の緊急避難としての生息域外保全

- ①陸産貝類等の緊急生息域外保全
世界自然遺産の中心的価値である陸産貝類の絶滅回避
- ②絶滅危惧種の生殖細胞・種子等の長期保存の検討

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和4年度～令和13年度

4. 事業イメージ

1. 離島希少種保全のための横断的外来種対策

①ノネコ対策（アマミノクロウサギ等固有鳥獣の保全）



②外来ネズミ類等対策（固有陸産貝類、植物、鳥獣類の保全）



2. 離島希少種の緊急避難としての生息域外保全

- ①陸産貝類の飼育・繁殖・野生復帰等
- ②凍結保存等による生殖細胞・種子等の長期保存の手法・体制の検討



生息域外個体群が繁殖途絶したオガサワラシジミ